

# 除染等業務従事者等の被ばく線量分布について

○小川 翼<sup>1</sup>，上野 哲朗<sup>1</sup>，浅野 智宏<sup>1</sup>，伊藤 敦夫<sup>1</sup>（<sup>1</sup>（公財）放射線影響協会）

## 1. 除染等業務従事者等被ばく線量登録管理制度への参加状況及び登録状況

除染等業務従事者等被ばく線量登録管理制度は平成25年11月15日に発足し、公益財団法人放射線影響協会放射線従事者中央登録センターが運営主体となり、除染等業務を実施する元請事業者の参加によって運用を行っている。

平成30年4月30日における制度参加事業者数は、定期（四半期）線量登録及び記録引渡しを行う事業者が95社、記録引渡しのみを行う事業者が322社である。定期（四半期）線量の登録件数は459,655件、記録引渡し登録件数は246,793件である。

本被ばく線量分布は、制度参加事業者によって登録された除染特別地域及び一部の汚染状況重点調査地域における定期（四半期）線量データを基に作成した。

## 2. 従事者の被ばく線量分布

表-1に平成30年5月16日現在の定期（四半期）線量データを基に集計した、除染等業務従事者等の平成29年（暦年）における被ばく線量分布を示す。平成29年は9割以上の従事者が、年間1mSv以下の被ばく線量であった。平成29年の被ばく線量分布と平成28年の被ばく線量分布を比較すると、合計人数は約11,000人減、平均線量は0.2mSv減、最大線量は0.2mSv増であった。

表-1：平成29年（暦年）の被ばく線量分布

線量区分 (mSv)	人数 (人)	割合	参考 (平成28年)	
1以下	23,029	(92.0%)	31,600	(87.6%)
1を超え5以下	1,958	(7.8%)	4,422	(12.3%)
5を超え10以下	38	(0.2%)	24	(0.1%)
10以上	0	(0.0%)	0	(0.0%)
合計人数 (人)	25,025		36,046	
平均線量 (mSv)	0.3		0.5	
最大線量 (mSv)	8.0		7.8	

表-2に除染等業務従事者等の平成29年（暦年）における地域別被ばく線量分布を示す。地域別被ばく線量分布は、除染特別地域内を「地域A（北部）」、「地域B（中央部）」、「地域C（南部）」に分類し、除染特別地域以外の市町村を「その他」として集計した。合計人数は「地域A（北部）」が最も多く、「その他」を除くと「地域C（南部）」が最も少なかった。平均線量が最も高い地域は「地域B（中央部）」であった。

表-2：平成29年（暦年）の地域別被ばく線量分布

線量区分 (mSv)	地域A	地域B	地域C	その他
1以下	11,759	9,227	5,786	469
1を超え5以下	157	1,574	119	0
5を超え10以下	0	37	0	0
10以上	0	0	0	0
合計人数 (人)	11,916	10,838	5,905	469
平均線量 (mSv)	0.2	0.5	0.1	0.0

地域A：飯館村、川俣町、南相馬市、浪江町 地域B：葛尾村、田村市、双葉町、大熊町  
地域C：川内村、富岡町、楡葉町 その他：除染特別地域外の市町村